



WAVE 50号

ウェーブ

2012年9月
2 頑張ってます
部門会議
3 シリーズ共済 no.1
4 INFORMATION

第14回通常総会開催 今年も国際協同組合年

ワーカーズという働き方を地域へ広げよう

埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会第14回通常総会が、7月8日生活クラブ生協埼玉本部会議室にて、出席団体32、延べ人数75名参加のもと開かれました。

来賓に生活クラブ生協埼玉、NPO法人大人の学校、NPO法人コミュニティケアクラブ埼玉、東京ワーカーズ・コレクティブ協同組合、そして今回初めて労働者協同組合連合会センター事業団北関東事業本部から玉木博信本部長と、労働者協同組合センター事業団所沢102(とうふ)工房の方にお越しいただき、皆さんから励ましのお言葉をいただきました。

議案はすべて賛成多数で可決され、スムーズに新年度のスタートが切られました。



一人ひとりが発信する力を

埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会会長 後藤 成美



無事第14回通常総会が終了し、今年度の活動がスタートしました。

1998年に設立した時には8ワーカーズで始まった連合会も新しい仲間が増えたり減ったりしながらも今年も40ワーカーズでの活動の始まり

となりました。

昨年来から行政との連携によるワーカーズ作り活動や、意思ある市民による問合せなど外部との折衝が増加してきました。そして事業拡大や継続に対する会員ワーカーズへの事業支援などの窓口機能をはたすためにも、連合会で

は事務局機能の強化をますます図る必要があります。

私たちの雇用されない働き方を社会化するために法律を作る活動も引き続きしてきましたがなかなか法制化は進みません。そんな中、今ある労働保障の補完として「ワーカーズ・コレクティブ所得補償共済」の活用を考えています。第3次中期計画の2年目、若者が集うワーカーズづくりを進めていくためにも次の世代を育て、ワーカーズを継続していく一つの方策になるでしょう。

今年も国際協同組合年でもあります。一人ひとりがワーカーズという働き方を理解し、運営し、地域に発信していきましょう。

頑張ってます！部門会議

埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会の会員ワーカーズは、業種別部門会議に所属し業種ごとの課題解決に力を合わせています。現在、食・配送・福祉・情報文化の4つの部門会議があります。

情報文化 部門会議



部門研修
西東京地域協議会見学

ーションの技術は未熟だったといえます。そこで今年度はまずノウハウを学ぶための学習会を予定しています。

各ワーカーズは日常業務に追われ、経営力向上のための策を検討する余裕のない状況かと思えます。だからこそ情報文化部門会議が各ワーカーズの課題とその解決策の発見や、経営力向上に生かせる情報・技術習得の場となるよう、活動に取り組んでいきます。

運営委員 武田信子

異業種ワーカーズが 集まれば何かが生まれる・

情報文化部門会議は食、配送、福祉部門以外のワーカーズが所属する「その他の部門会議」です。今年度は準備ワーカーズを含め15の異業種ワーカーズが所属します。

会議では、異業種事業体が集合する特色を活かし、事業所間の情報共有を図り、共通の課題である経営力の向上をめざしていきます。今年度第1回会議を7月8日に行い、11ワーカーズ出席のもと、事業計画を確認し、事業の向上に向け発進することができました。

事業を伸ばす方法の1つめとして、昨年と同様に「課題点検表」をもとに各事業所が事業内容・状況を点検し見出した課題と、その解決方法を会議に持ち寄り共有します。

2つめとして営業力を高めるためのプレゼンテーションについて学び、実際に行うことを目標にします。顧客や他事業体に自らの事業をPRするだけでなく、一人のアイデアを仲間に伝える技術としても有効と考えます。昨年度、5ワーカーズで初めてのプレゼンテーションを行いました。リサイクルワーカーズが布のリフォームワーカーズへ、古布や古着でのリフォーム品作成を依頼し実現しました。葬送ワーカーズの会食の場所の提携を、他ワーカーズができなかなども話し合われました。しかしプレゼンテ

食 部門会議



「豆の会」
お弁当の配膳作業

安心な食材を手に入れるため 共同仕入システム

協同する意味をもっとも知っているのが、食の共同仕入れを作り上げてきた食ワーカーズかもしれません。

埼玉の食ワーカーズには20年以上の歴史があります。どの食ワーカーズも安全な食材を使い、手作りで安心なお弁当、食事を提供したいという共通した思いがあります。その為の食材を入手するために「共同仕入れ」というシステムが出来上がってきました。

シリーズ共済 No.1



ひとはみんなのために、
みんなはひとりのために

古くから日本人は、暮らしや仕事の共通性、同一性を生かし協同の力でカバーし合うことを営々と行ってきました。農業、漁業、交通、学校、スポーツ、医療など様々な事業ごとに協同組合が組織され、共同で事業に必要な物を購入するなど、仕事や生活を有利にしてきました。

共済もその一つ。生活や事業のリスクを助け合うことでカバーしようとする協同のたすけあいです。

ワーカーズコレクティブの仲間も、アビリティクラブたすけあい(ACT)や、東京、神奈川の連合会では独自共済を整え、ワーカーズ間のたすけあいにより働く上でのリスクをカバーしてきました。しかし、外資の保険業が躍進する中、2005年、保険業法が改正され1,000人以上での共済は「少額短期保険」への移行を余儀なくされました。

2,200人を超える加入者で構成される神奈川連合会が行う共済は、2,200人を三つに分けて運営してきました。その煩雑さと今後も法改正の可能性のあることを考慮し、この春、ワーカーズコレクティブ共済株式会社を設立し「少額短期保険」へ移行しました。

労災への加入が課題となっている事業規模の小さなワーカーズや、不幸にして働けないことになったとき、所得が保障される共済を必要としている事業体は少なくないと思います。ワコレ共済株式会社では、全国のワーカーズへ加入を呼び掛け動き始めました。

次回 シリーズ共済 NO.2

あくまでも働く人の協同組合の法制化と労働補償を！



はじめはワーカーズで班を作り生活クラブの消費材を使いました。その後業務用に仕立てたものを「太陽食販」が窓口になり首都圏4単協(東京・神奈川・千葉・埼玉)が参加し本格的な共同仕入れが始まりました。当初埼玉の受発注業務は東京ワーカーズの事務局にお世話になりました。

そんな中埼玉でも秩父吉田町のこんにやく、鶏肉の取り組みなど独自の開発も行ないました。

次に窓口とワーカーズへの配達を受けていた「太陽食販」が生活クラブ連合会の再編で配達が出来なくなり、窓口も「生活クラブスピリッツ」に替わりました。4単協とスピリッツの会議の中でワーカーズ食材を創り上げていくようになり、その代表が「ワーカーズ鶏」です。NON-GMOの飼料を食べて育ったチャンキー種の鶏は世界中でこれだけです。安全な食材の開発は一つのワーカーズでは出来ませんが4単協、「スピリッツ」、WNJが手を組み生産者の協力で新たな物が誕生しました。

WNJの食の共同事業会議とのコラボでは国産間伐材の割り箸、埼玉からの提案では結着材の無い「骨なし魚」の取り組みなどが実現しました。

埼玉の中では受発注業務などを今まで「サポーターズ」「セブンフーズ」「つどい」等ワーカーズに依頼してきましたが、しっかりとした事務局機能を確立することが課題です。

ワーカーズあい 青木早苗



「いま、『協同』が創る2012全国集会」

主催者：ワーカーズコープ(日本労働者協同組合)

2012年11月17日(土)～18日(日)

大宮ソニックシティ

埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会も参画しています。

第5分科会「新しい生き方、働き方を

地域から創る協同労働の可能性」

地域に必要とされる協同労働事業の事例報告と、事業継続のために必要なことを考えます。

第7分科会「公的制度の不備を埋める

コミュニティアケア」

介護保険の不足を補うコミュニティアケアの事例報告と、公的支援や国や自治体からのサービスの充実で、安心して暮らし続けることのできるまちをつくる仕組みを考えます。

新しい仲間紹介



コミュニティカフェから福祉有償運送まで

特定非営利活動法人ワーカーズコレクティブ こうさてん



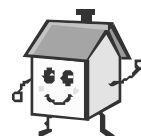
2011年5月、約半年の準備を経て、吹上に「コミュニティカフェ幸茶店~こうさてん~」を開店。お茶や食事の提供だけでなく、人と人が出会い、学び合い、認め合える関係を築き、無理のない方法で、気楽に支え合える地域社会をつくりたいと考えています。

これまで飲食サービスの他、子育て支援事業として小学生~高校生の学習支援や絵本の会を、また交流促進事業として歌声カフェ、高齢者サロン、大人の寺子屋カフェなどのイベントを行ってきました。そして今後は、福祉有償運送などの地域



福祉事業を始める予定です。

課題は、地域への情報発信力アップ、仲間づくり、事務作業などで、連合会加入により、これらの解消方法を探っていきたいと思えます。

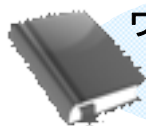


幸茶店・こうさてん

鴻巣市吹上富士見3丁目1-7

048-598-7614

<http://cafe-kousaten.cocolog-nifty.com/blog/>



ワーカーズをもっと知りたい、
もっと広めたい。
そんな人たちのための冊子

「ホップステップワーカーズ」
起業のためのガイドブック」
改訂新版！埼玉W.Co 連合会発行500円

「地域で暮らし続けるために 共に支える
ワーカーズコレクティブの福祉事業事例紹介」
WNJ発行500円

WNJ：ワーカーズ・コレクティブネットワークジャパン（全国組織です）

あとがき 夏の暑い昼時分炙られるようなアスファルトの上を日陰をたどりつつ歩いていた時、空気が少し爽やかに涼しくなったと感じて目を上げたら、木々の茂った空間がありました。自然の力にはかなわないなあ。人も自然も大切にしてく社会を、次の世代に渡してゆきたいと切に思います。私の地元でも原発や自然エネルギーを考える市民主催の会が、毎月のようにいろいろ開かれています。人間もいいですね。（お）

ワーカーズ・コレクティブとは、経営と労働を自主管理・自主運営する主体的な働き方で、地域に開かれた労働の場を作り出すものです。

ワーカーズってなに？

◎出前講座◎

講師派遣します

2時間 1万円 + 交通費
(関係団体は5千円)

お問い合わせは
事務局まで。



発行・・・埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会

1部 100円

発行責任者・・・後藤成美 編集・・・広報チーム 佐藤/福島/齊藤/大塚

事務局 〒336-0031 さいたま市南区鹿手袋1-5-3 ひゅうまんポスト内 電話/FAX 048-844-0221

<http://saitama-workers.com/>